

(5) バス

バス利用者は減少の一途をたどり、経営難から路線撤退が懸念される。

- ・市営バス事業の民間委譲（H15,16）が行われ、市内の路線バスは全て民営である。
- ・市街地の殆どを鉄道とバスがカバーしている。バス走行キロはほぼ横ばいのなか、乗車人員は減少の一途をたどっており、バス事業の経営状況は厳しい。
- ・道路運送法の改正（H14）で路線撤退に対する規制が解除され、認可制から届出制となった。
- ・札幌市ではバス路線維持補助制度を導入（H19）し、生活路線の確保に取り組んでいる。

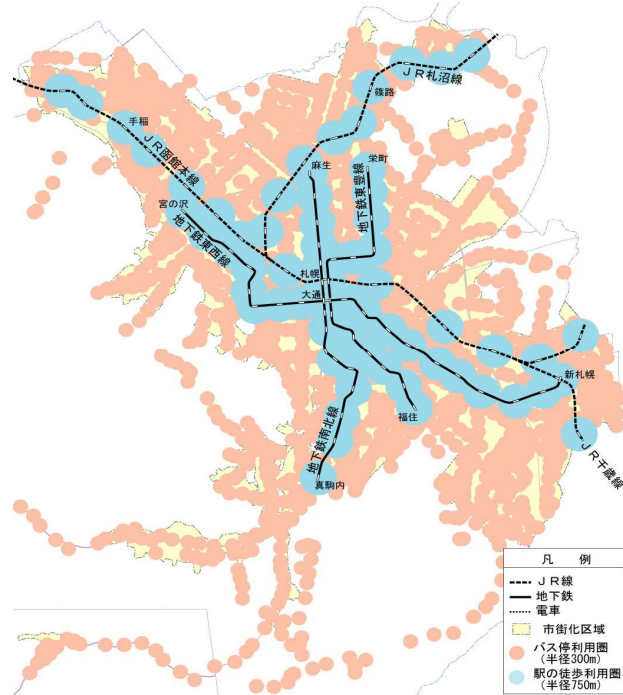


図 1-72 市内バス鉄道カバー圏

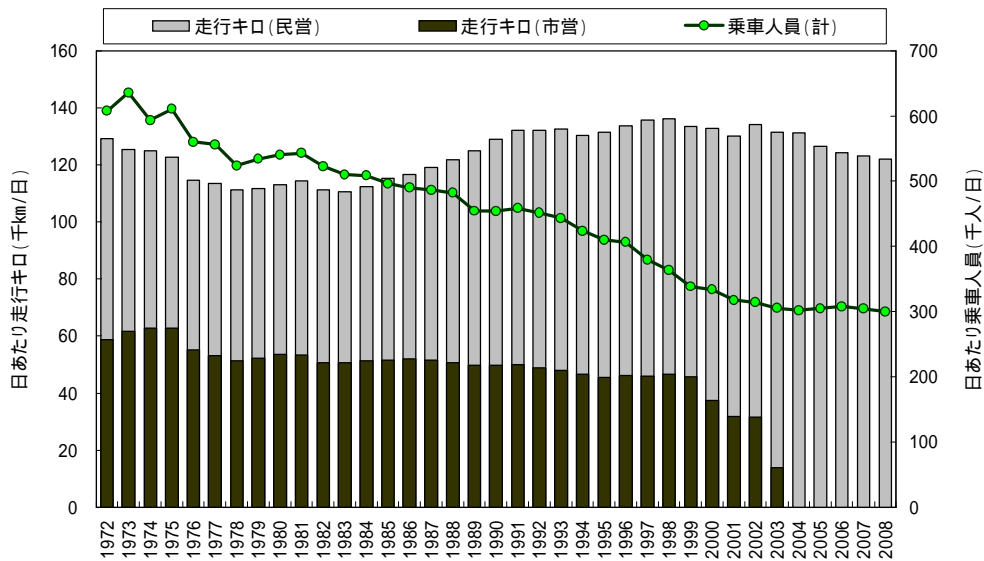


図 1-7370 市内バスの走行キロと乗車人員の推移 資料：札幌の都市交通データブック

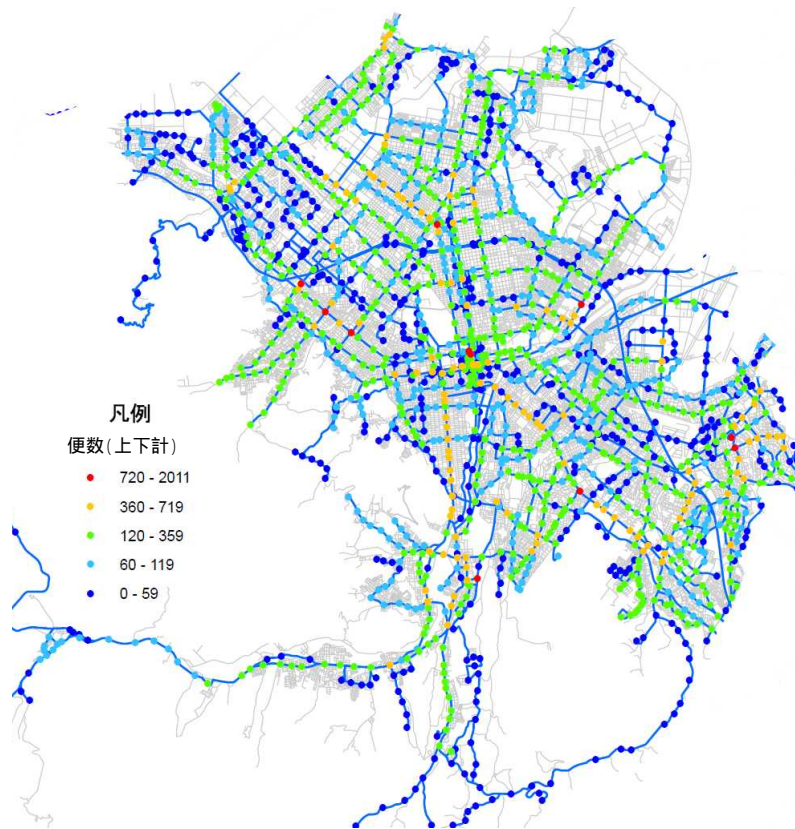


図 1-74 市内便数ランク別バス停

(6) 乗り継ぎ

駅でのバス乗り継ぎが減少し、自転車や徒歩が増加する傾向。

- ・ 駅端末手段の7割は徒歩。バスや自転車からの乗り継ぎは2割あまり。
- ・ 地下鉄駅ではJRに比べてバス乗り継ぎ利用割合が高い。
- ・ 駅端末手段はバスが減少して、自転車や徒歩が増加する傾向。

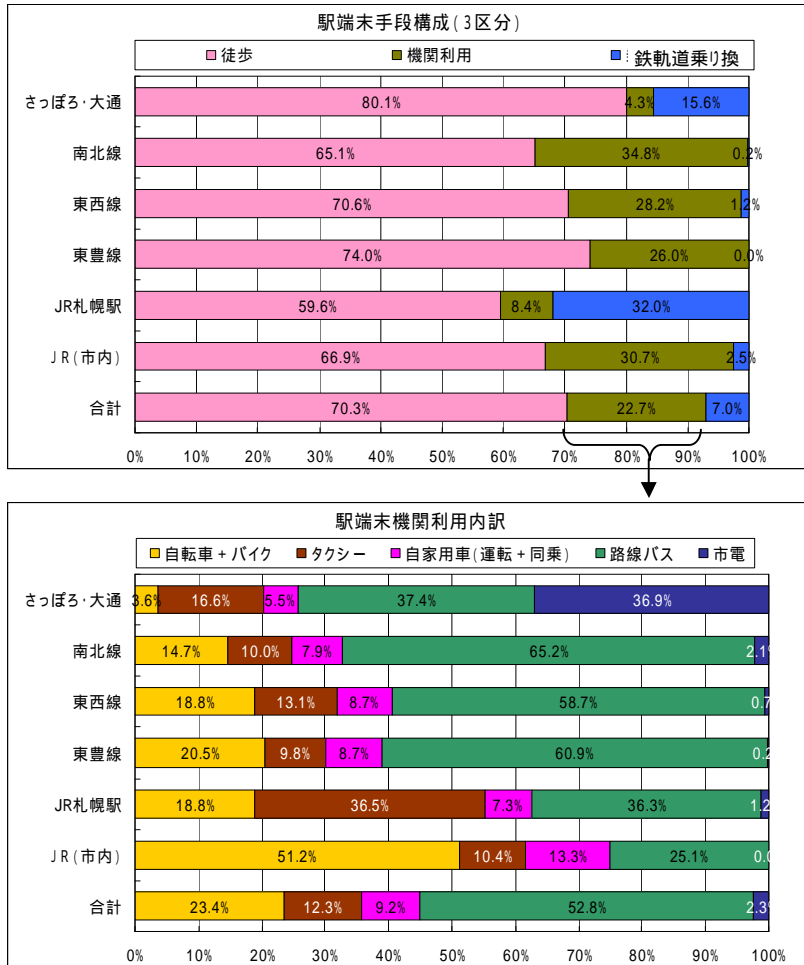


図 1-75 市内鉄軌道の路線別端末手段構成 資料：道央都市圏パーソントリップ調査（2006年）

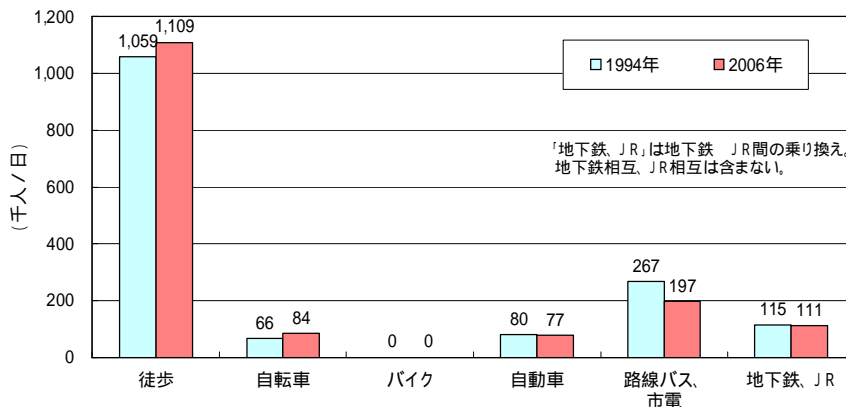


図 1-76 端末手段別駅乗降者数（札幌市内駅集計）の推移 資料：道央都市圏パーソントリップ調査